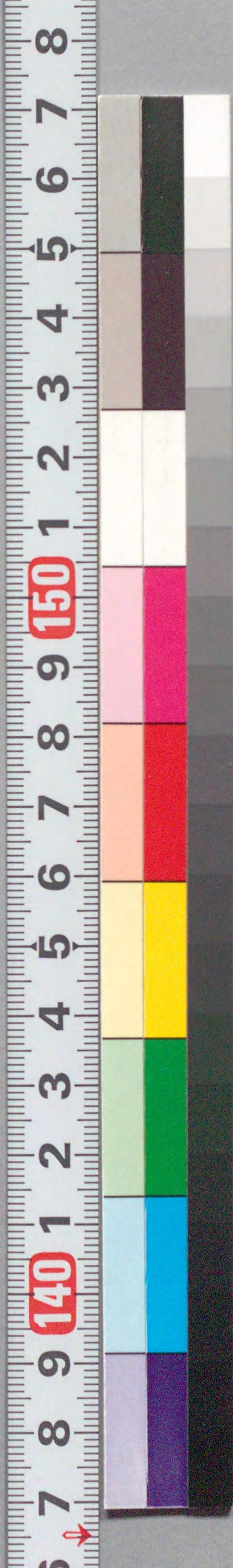


国立国会図書館 娜真都翳喜 4編 208-705



ガラス使用



玉都葉喜

初編

中

208  
12  
705





梳髮  
奇方

# 物及宝利

為永春水家傳  
代三十六編

髪治を去様をさりて  
髪の艶をうるべし

此初よりといふ髪は清浄のこもり小く髪のものお小古今  
髪の方あり常小く髪を洗用ひおまらば髪の様をさ  
事なりお何れ髪は清浄なりかまらば髪は清浄なりかまらば  
血のなすて髪は清浄なりかまらば髪は清浄なりかまらば  
髪は清浄なりかまらば髪は清浄なりかまらば髪は清浄なりかまらば  
髪をいひ髪は清浄なりかまらば髪は清浄なりかまらば

御秘の  
とまり  
かまらば

江戸本橋南の方弥左門町中程

大鳴屋傳右衛門精製

貞孝  
婦女  
娜真都翳喜初編中之卷

江戸 狂訓亭主人著

## 第三回

三  
エコ  
和十さん世の中の流れはとらふものハ妙なるなり  
ものごしらへエ左様ごごしらえども目録しゅうり  
ごごしらへ下りの中も養者や軒筒ハ実志のふら  
まらば娘ハ少く歎なる不実者が立地ハ染形も出まらば流  
りらばア後りアアア又思はら子ト  
あるものやあり







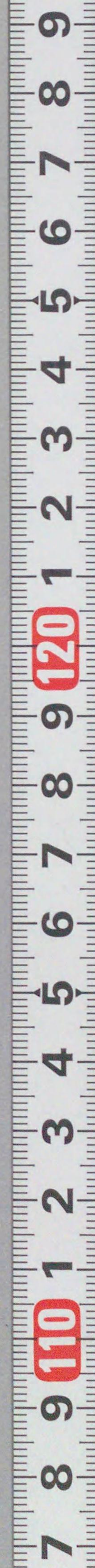
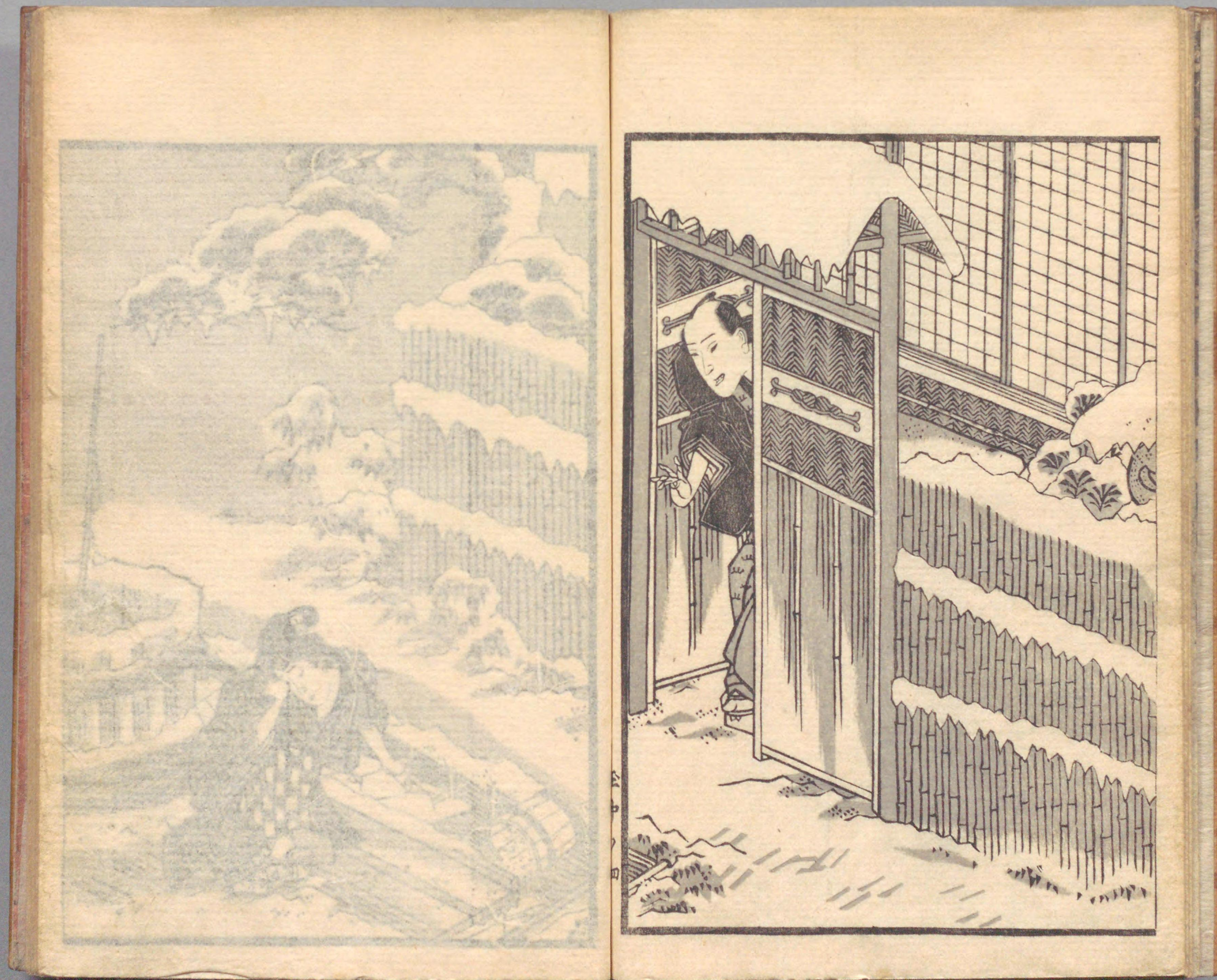




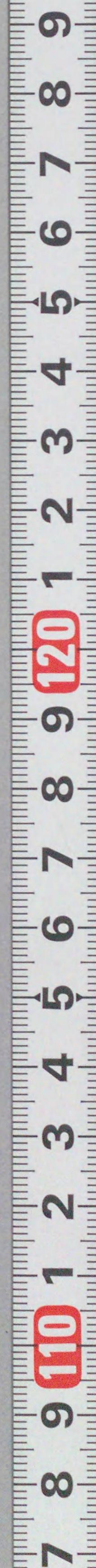
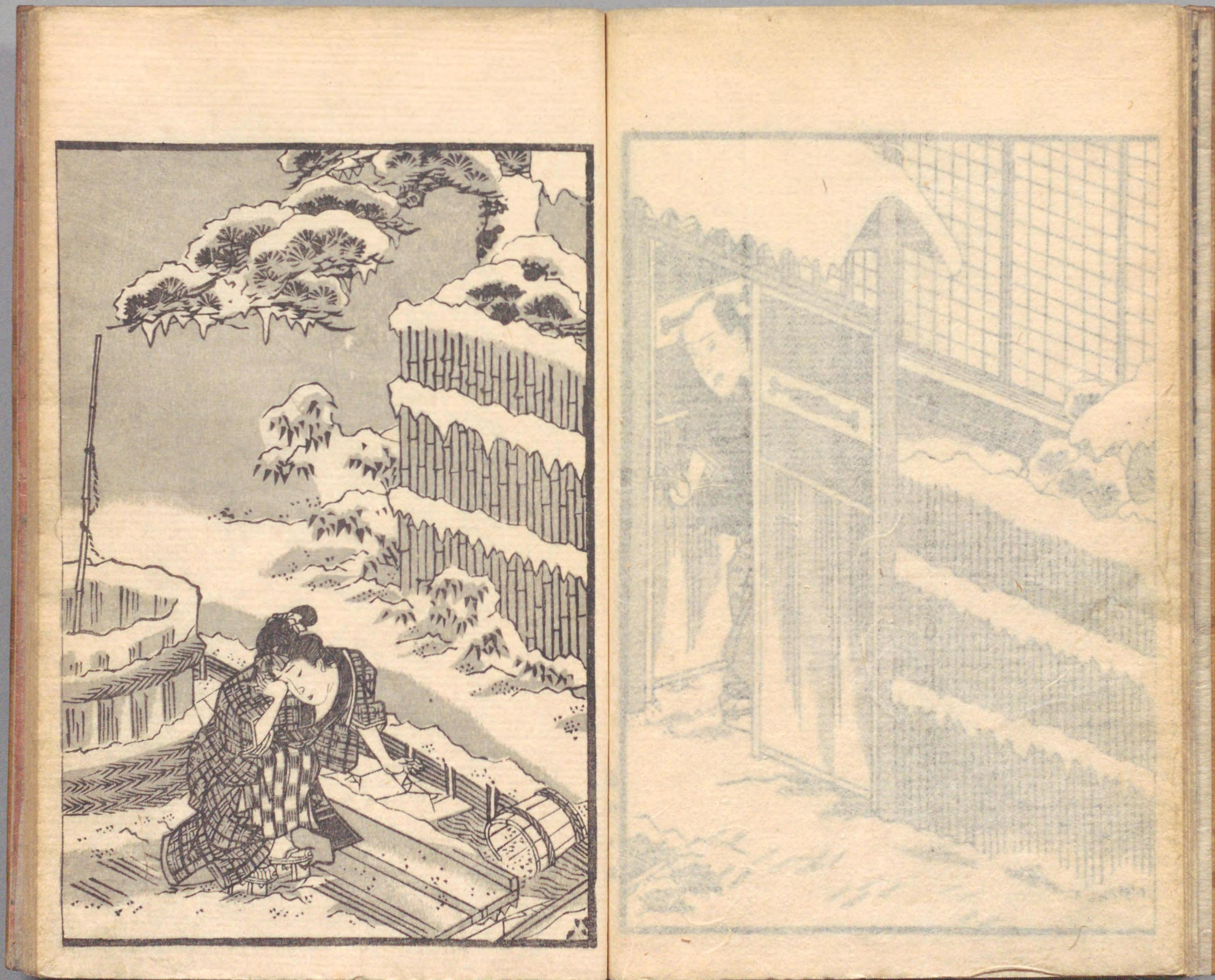


























一 怪體を以てク子 二 且ねア各且ねのハるモ 三 時小出  
 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十  
 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十  
 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十  
 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十  
 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

ト 三枚をよむ  
 一 二枚をよむ  
 三 四枚をよむ  
 五 六枚をよむ  
 七 八枚をよむ  
 九 十枚をよむ  
 十一 十二枚をよむ  
 十三 十四枚をよむ  
 十五 十六枚をよむ  
 十七 十八枚をよむ  
 十九 二十枚をよむ  
 二十一 二十二枚をよむ  
 二十三 二十四枚をよむ  
 二十五 二十六枚をよむ  
 二十六 二十七枚をよむ  
 二十七 二十八枚をよむ  
 二十八 二十九枚をよむ  
 二十九 三十枚をよむ  
 三十 三十一枚をよむ  
 三十一 三十二枚をよむ  
 三十二 三十三枚をよむ  
 三十三 三十四枚をよむ  
 三十四 三十五枚をよむ  
 三十五 三十六枚をよむ  
 三十六 三十七枚をよむ  
 三十七 三十八枚をよむ  
 三十八 三十九枚をよむ  
 三十九 四十枚をよむ  
 四十 四十一枚をよむ  
 四十一 四十二枚をよむ  
 四十二 四十三枚をよむ  
 四十三 四十四枚をよむ  
 四十四 四十五枚をよむ  
 四十五 四十六枚をよむ  
 四十六 四十七枚をよむ  
 四十七 四十八枚をよむ  
 四十八 四十九枚をよむ  
 四十九 五十枚をよむ  
 五十 五十一枚をよむ  
 五十一 五十二枚をよむ  
 五十二 五十三枚をよむ  
 五十三 五十四枚をよむ  
 五十四 五十五枚をよむ  
 五十五 五十六枚をよむ  
 五十六 五十七枚をよむ  
 五十七 五十八枚をよむ  
 五十八 五十九枚をよむ  
 五十九 六十枚をよむ  
 六十 六十一枚をよむ  
 六十一 六十二枚をよむ  
 六十二 六十三枚をよむ  
 六十三 六十四枚をよむ  
 六十四 六十五枚をよむ  
 六十五 六十六枚をよむ  
 六十六 六十七枚をよむ  
 六十七 六十八枚をよむ  
 六十八 六十九枚をよむ  
 六十九 七十枚をよむ  
 七十 七十一枚をよむ  
 七十一 七十二枚をよむ  
 七十二 七十三枚をよむ  
 七十三 七十四枚をよむ  
 七十四 七十五枚をよむ  
 七十五 七十六枚をよむ  
 七十六 七十七枚をよむ  
 七十七 七十八枚をよむ  
 七十八 七十九枚をよむ  
 七十九 八十枚をよむ  
 八十 八十一枚をよむ  
 八十一 八十二枚をよむ  
 八十二 八十三枚をよむ  
 八十三 八十四枚をよむ  
 八十四 八十五枚をよむ  
 八十五 八十六枚をよむ  
 八十六 八十七枚をよむ  
 八十七 八十八枚をよむ  
 八十八 八十九枚をよむ  
 八十九 九十枚をよむ  
 九十 九十一枚をよむ  
 九十一 九十二枚をよむ  
 九十二 九十三枚をよむ  
 九十三 九十四枚をよむ  
 九十四 九十五枚をよむ  
 九十五 九十六枚をよむ  
 九十六 九十七枚をよむ  
 九十七 九十八枚をよむ  
 九十八 九十九枚をよむ  
 九十九 一百枚をよむ

○ 扇風呂桶の美遠  
 威廉相ある人内の男をよびヤイ与七  
 云付と云ふらうらよの与七と云へてある程  
 よらうと云ふらうらよの与七と云へてある程  
 ませうと云ふらうらよの与七と云へてある程





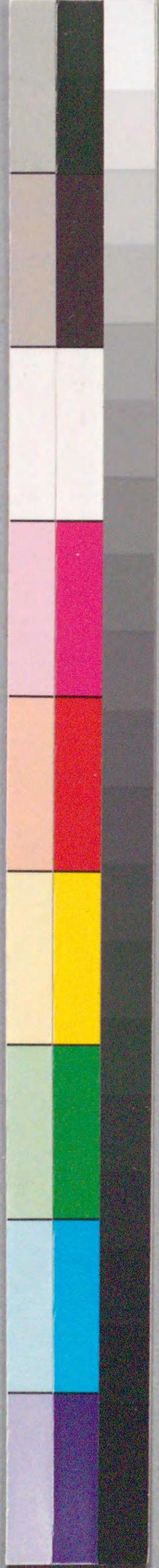




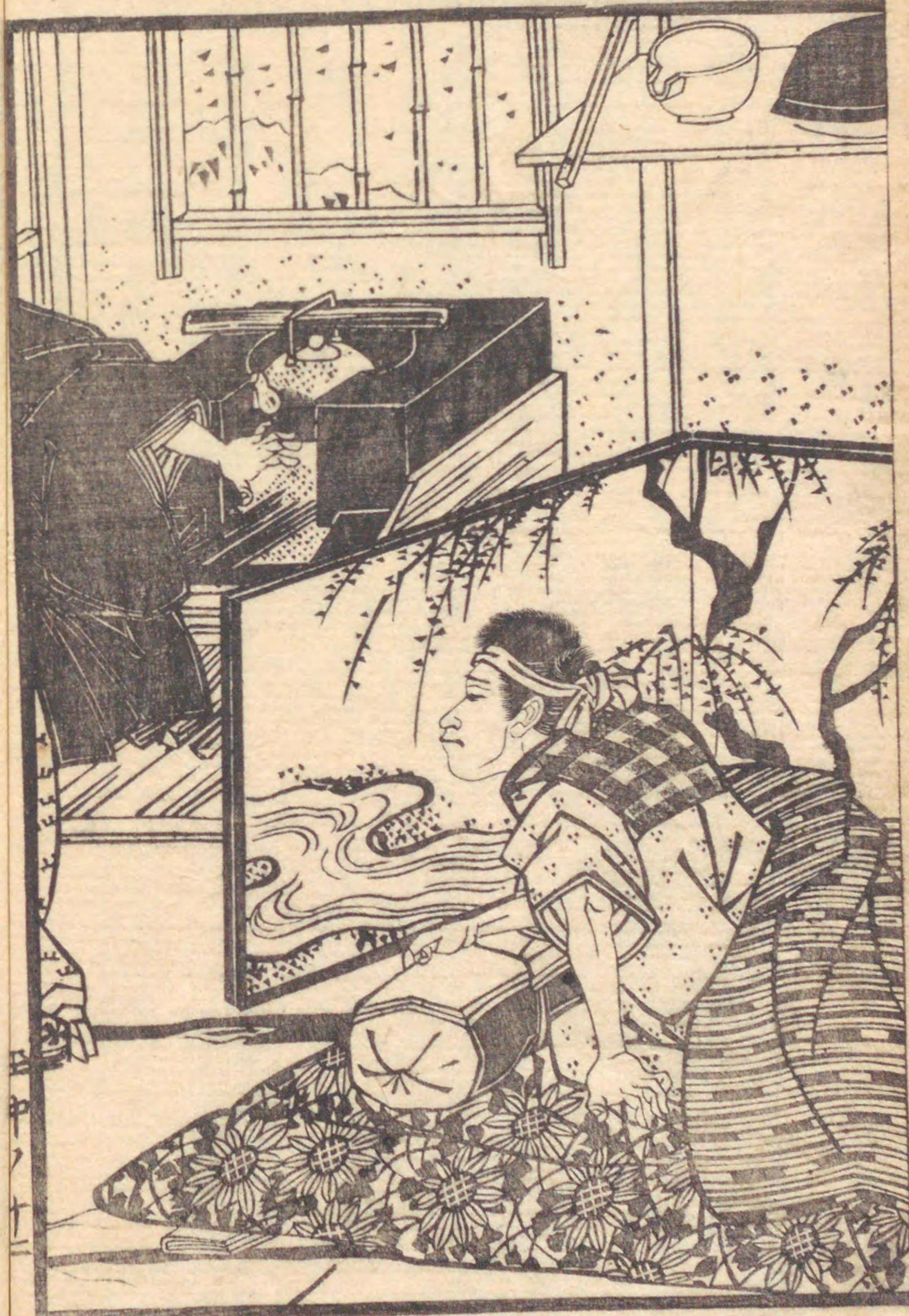


ふあけしどきも昔居ても洋よりでも益々増しよりなる  
御小使が言くつらつ切落しに百三十二文と云ふは  
居をえんむちる小一人兼南一ぢやアアと云ふは  
仕まつる者のお儀を考へて自ら金言を上るるを  
むりりユむり三百六十日を二百日と割分と昔居が日数二十日も  
可あり小島へ百日の中づらぬが八十日は休ふるのをうり  
一年を三割一分の清業を志すのむりへ是者が六百  
の借金で来こと一雨を今十あると云ふは  
とりのと万事が合あはれ一やう小使を言へる事むり  
うむらうさあうとんるをりつ流形小むる理が因  
の世の八百年も是利の十三代も今のやう小自由のたりる若平  
ハあつた志をえんアレサ且ねたまんまことこの病をいふ  
のまらつヨサア和十えんめづらつの味をかヨ和工兵今を  
考へつらつとりのちる小猪もよりハ夏が運ぶ仕切の船が  
夏やあ夜食とか量とつ小のさうでぶいのみは子こナニよりのハ  
の成刻時分小ハ教食をせると丁ちやうどよのヨ夏は毎うぐどい外

とりのと万事が合あはれ一やう小使を言へる事むり  
うむらうさあうとんるをりつ流形小むる理が因  
の世の八百年も是利の十三代も今のやう小自由のたりる若平  
ハあつた志をえんアレサ且ねたまんまことこの病をいふ  
のまらつヨサア和十えんめづらつの味をかヨ和工兵今を  
考へつらつとりのちる小猪もよりハ夏が運ぶ仕切の船が  
夏やあ夜食とか量とつ小のさうでぶいのみは子こナニよりのハ  
の成刻時分小ハ教食をせると丁ちやうどよのヨ夏は毎うぐどい外

























も病毒の床小伏子三十日を十日あまの入りも終らふ  
やうなりし由及心筋の位居よりまゝ一際麻末あるの西ハ  
うつりしとどかくては終も病ひぢらむとありし中一色一  
日の要僕仲るが今の友達あつては万葉の事と云ふ所の  
き矢を大さうふうぞとせふふさるまづもまゝに  
の臣候としりより万葉を獄小送らんとしつゝを返  
見ぬ六娘をさうりさうとも金を調へてさうく不返  
まづとせりけし病とありし後ハ中次の強旁小

人をあぐししうぬ人とありけし今宵無漢おが金  
万葉を引まゝ娘をおどしとせふ終りけしとせふも孝行  
あるお坊の如小附込あつてをうせんとせりしとせ  
比時和十八三晩ふ云附込万葉の己けを改札し三晩小金  
をいせせ何もうも行付て後三晩ハ晴しくも万葉小因者  
をいけ療治させお坊小ハ衣袴を与へ父の金使をまて六  
活業を助力すお坊させしとせあまの孝行あるお坊を  
天のあませしお坊とせり



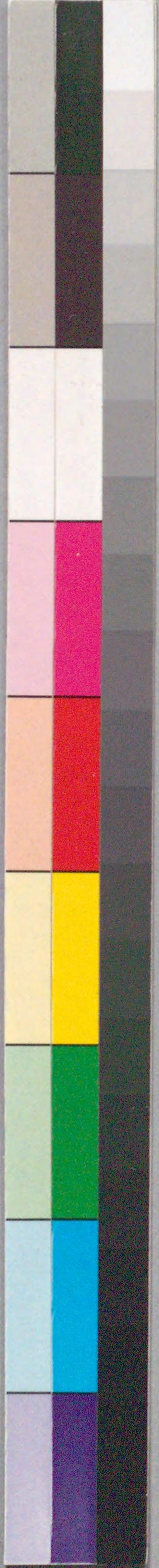
ガラス使用



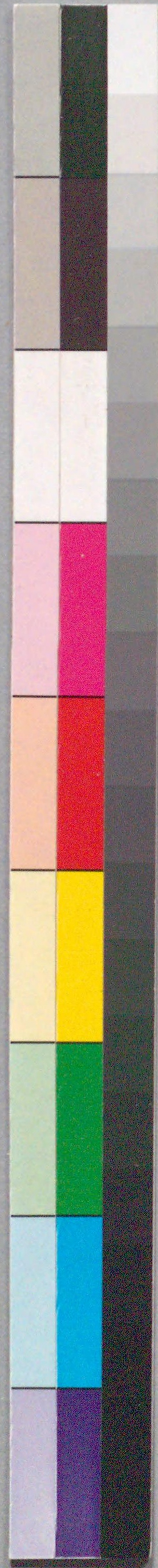
208  
12  
705

貞女  
娜真都翳喜初編中之巻終

[Faint, illegible text within a rectangular border]







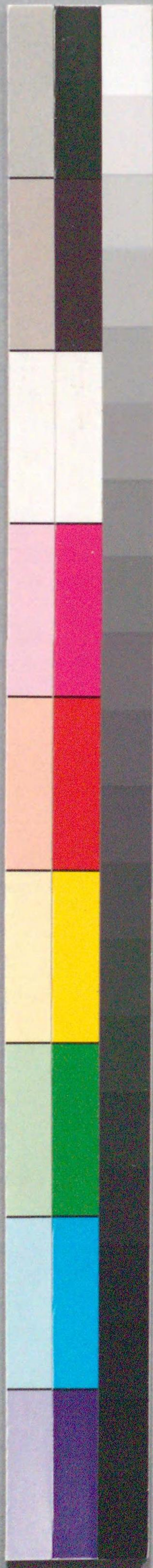
208  
12  
705



国立国会図書館 娜真都翳喜 4編 208-705

ガラス使用





国立国会図書館 娜真都翳喜 4編 208-705



ガラス使用

